2010 年 4 月 30 日
野村不動産ホールディングス株式会社
（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2010年３月期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木　弘久）は、本日、2010年３月期連結決算（2009年４月１日～2010年３月31日）を確定いたしましたのでお知らせいたします。なお、詳細については、「平成22年３月期　決算短信」を併せてご参照ください。

＜ハイライト＞

■2010年３月期における連結業績は、売上高が4,342億円（前期比3.2％減）、営業利益が392億円（同15.5％増）、経常利益が239億円（同1.1％増）、当期純利益が46億円（同66.2％減）となりました。前期比で当期純利益が大きく減少したのは、当社連結子会社である野村不動産が、同じく連結子会社である野村不動産投資顧問の運用する、不動産ローン担保証券を投資対象とする私募ファンドに対して、機関投資家とともに出資を行っており、当該出資のうち時価が著しく下落しているものについて、帳簿上の価格と時価との差額約105億円を営業エクイティ投資評価損として特別損失に計上したことに因ります。

■住宅事業セグメント・・・マンションと一戸建てをあわせた住宅分譲部門では、計上（引渡）戸数が前期比21.3％増の4,111戸となりました。また、期末の完成在庫数は535戸と約２倍となりました。これは、首都圏での在庫数は減少した一方で、マーケットの回復が遅れている関西および地方の在庫数が増加したことに因ります。

■ビル事業セグメント・・・NREG東芝不動産の通期収益を計上したことに伴い、増収増益となりました。なお、空室率は前期と比較し2.2ポイントの悪化となり、３月末時点で4.8％となりました。コスト削減効果などを求めるテナントのオフィス縮小傾向が続くなど、需要は依然として弱含みとなっております。

■資産運用開発事業セグメント・・・収益不動産の売却が減少したことから、売上高は前期実績を下回りました。

■2011年３月期の連結業績は、売上高4,500億円（前期比3.6％増）、営業利益350億円（同10.9％減）、経常利益180億円（同24.9％減）、当期純利益70億円（同50.2％増）を見込んでおります。

■なお、2011年３月期の年間配当金は１株当たり25円を据え置く予定です。

以　上

（添付資料）
平成 22 年３月期　決算短信
2010年３月期決算短信補足資料

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（石川・津賀）
TEL03－3348－8117　・　FAX03－3343－0445